



平成27年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年12月19日

上場会社名 日本オラクル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>
 代表者（役職名） 代表執行役社長 兼 CEO（氏名） 杉原 博茂
 問合せ先責任者（役職名） 執行役副社長 兼 CFO（氏名） 野坂 茂（TEL）03-6834-6666
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年5月期第2四半期の業績（平成26年6月1日～平成26年11月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第2四半期	78,157	7.6	22,682	16.5	22,827	17.5	14,708	23.5
26年5月期第2四半期	72,653	△2.2	19,466	△6.9	19,434	△7.2	11,912	△7.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第2四半期	115.63	115.56
26年5月期第2四半期	93.73	93.68

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第2四半期	160,158	98,183	60.7
26年5月期	154,002	94,401	60.6

（参考）自己資本 27年5月期第2四半期 97,213百万円 26年5月期 93,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	86.00	86.00
27年5月期	—	0.00			
27年5月期(予想)			—	91.00	91.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の業績予想（平成26年6月1日～平成27年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	3.2	45,000	1.5	45,100	1.8	28,900	6.4	226.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年5月期2Q	127,219,171株	26年5月期	127,202,871株
27年5月期2Q	7,555株	26年5月期	7,025株
27年5月期2Q	127,206,426株	26年5月期2Q	127,094,949株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P4「業績予想などの詳細予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の概要

当第2四半期累計期間(自平成26年6月1日至平成26年11月30日。以下、「当四半期」)においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減はあったものの、政府の経済政策や金融政策により企業収益は引き続き改善基調にあり、お客様のIT投資意欲についても金融、流通サービス業に続き、製造等の業種においても回復基調にあります。

このような事業環境のもと、売上高は78,157百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益は22,682百万円(前年同期比16.5%増)、経常利益は22,827百万円(前年同期比17.5%増)、四半期純利益は14,708百万円(前年同期比23.5%増)となりました。

② 報告セグメント別の状況

[新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション]

売上高は22,238百万円(前年同期比15.4%増)となりました。また内訳につきましては、新規ライセンスの売上高は21,094百万円(前年同期比17.5%増)、クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションの売上高は1,143百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、特定のソフトウェアやソフトウェア実行基盤をクラウド・コンピューティング環境でサービス利用型として提供する「クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」から構成されます。現在、多くの企業でITを活用した競争力強化の経営方針を進めています。当社は、グローバルで採用されているソフトウェア製品および関連サービスを、顧客企業に総合的な提案をする営業施策を積極的に進めてまいりました。

製品面では、新規ライセンスについては、革新的なインメモリ技術によりデータベースの処理性能を飛躍的に向上させ、ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)やインターネット・オブ・シングス(IOT)など、ヒトとモノ、モノとモノの間でやりとりされる膨大なデータのリアルタイム分析環境を構築する「Oracle Database In-Memory」の提供を平成26年7月に、また、業界標準言語であるSQLでHadoopやNoSQLデータベースに格納されている構造化、非構造化のあらゆるデータへのアクセスを可能にし、企業におけるビッグデータ活用をより一層推進する「Oracle Big Data SQL」の提供を平成26年9月に開始しました。

また、クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションについては、見込み顧客ごとに最適なメッセージを最適なタイミングで発信することで、マーケティング業務の効率化を支援する「Oracle Marketing Cloud」、**「Oracle Hyperion」**の予算管理、管理会計などの機能をSaaS形式で提供する「Oracle Planning and Budgeting Cloud Service」の提供を、平成26年8月に開始しました。付加価値の高い製品・サービスを拡充し、パートナー企業との協業を含めた営業・マーケティング活動を強力に推進した結果、当社製品の新規採用企業が増えてきております。今後もさらなるユーザー数の拡大を行ってまいります。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は36,298百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ(事前対処的)、かつプリベンティブ(予防的)なサポートを提供する「My Oracle Support」等、製品を利用されているお客様に対するサポートの価値訴求や、特にパートナー企業との協業を推進し、新規にライセンスを購入されたお客様からの新規契約と既存のお客様からの契約更新を確保し、堅調に推移しました。

【ハードウェア・システムズ】

売上高は10,811百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システム、ネットワーク機器等のハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は5,788百万円（前年同期比10.3%減）となりました。高速化対応、システムの早期稼働、システム統合におけるエンジニアド・システムに対する需要は引き続き堅調で、特に「Oracle Exadata Database Machine」についてはマーケットリーダーとして市場の成長を牽引しております。平成26年10月に提供開始となったリアルタイムでのデータ保護を可能とする「Zero Data Loss Recovery Appliance」、平成26年11月に提供開始となったフラッシュ・メモリスの「Oracle FS1 Flash Storage System」などの最新のバックアップ、ストレージなどの新製品を拡充し、お客様のデータ保護、費用対効果の高いデータ利活用環境の構築を提案してまいります。

ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は5,022百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

【サービス】

売上高は8,808百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

当セグメントは、当社製品の導入支援を行う「コンサルティングサービス」、予防保守サービスやお客様のIT環境の包括的な運用管理サービスを提供する「アドバンストカスタマーサポートサービス(注)」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーションサービス」から構成されております。

アドバンストカスタマーサポートサービスの予防保守サービスが「Oracle Exadata Database Machine」向けに引き続き好調に推移しました。

(注) 従来のマネージド・クラウドサービスから名称を変更いたしました。

<報告セグメント別売上高の状況>

区分	平成26年5月期 第2四半期		平成27年5月期 第2四半期			平成26年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	17,954	24.7	21,094	27.0	17.5	42,874	27.7
クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	1,319	1.8	1,143	1.5	△13.3	2,591	1.7
新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	19,273	26.5	22,238	28.5	15.4	45,466	29.3
アップデート&プロダクト・サポート	33,680	46.4	36,298	46.4	7.8	68,594	44.3
ソフトウェア関連	52,954	72.9	58,537	74.9	10.5	114,060	73.6
ハードウェア・システムズ・プロダクト	6,450	8.9	5,788	7.4	△10.3	13,724	8.9
ハードウェア・システムズ・サポート	4,827	6.6	5,022	6.4	4.0	9,808	6.3
ハードウェア・システムズ	11,277	15.5	10,811	13.8	△4.1	23,532	15.2
サービス	8,421	11.6	8,808	11.3	4.6	17,378	11.2
合計	72,653	100.0	78,157	100.0	7.6	154,972	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は160,158百万円(前事業年度末比6,155百万円増)となりました。流動資産は119,364百万円(前事業年度末比6,529百万円増)となりました。

負債は61,974百万円(前事業年度末比2,373百万円増)、純資産は98,183百万円(前事業年度末比3,782百万円増)となりました。この結果、自己資本比率は60.7%(前事業年度末比0.1ポイントアップ)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月26日に発表いたしました平成27年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・ 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,536	98,093
売掛金	18,770	16,513
商品及び製品	0	—
短期貸付金	48,500	—
その他	4,031	4,760
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	112,835	119,364
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	13,065	12,691
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,288	1,318
有形固定資産合計	40,411	40,067
無形固定資産	10	8
投資その他の資産		
その他	750	721
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	745	716
固定資産合計	41,167	40,793
資産合計	154,002	160,158
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,963	9,334
未払金	3,534	5,086
未払法人税等	8,609	8,302
前受金	34,118	34,701
賞与引当金	1,880	1,371
その他の引当金	246	227
その他	2,241	2,943
流動負債合計	59,593	61,967
固定負債		
その他	7	7
固定負債合計	7	7
負債合計	59,601	61,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,506	22,536
資本剰余金	5,857	5,886
利益剰余金	65,053	68,823
自己株式	△30	△33
株主資本合計	93,387	97,213
新株予約権	1,013	969
純資産合計	94,401	98,183
負債純資産合計	154,002	160,158

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
売上高	72,653	78,157
売上原価	37,805	40,389
売上総利益	34,848	37,767
販売費及び一般管理費	15,381	15,085
営業利益	19,466	22,682
営業外収益		
受取利息	32	24
為替差益	—	93
その他	2	27
営業外収益合計	35	145
営業外費用		
その他	66	0
営業外費用合計	66	0
経常利益	19,434	22,827
特別利益		
新株予約権戻入益	24	101
特別利益合計	24	101
特別損失		
投資有価証券売却損	8	—
事業構造改善費用	126	—
特別損失合計	135	—
税引前四半期純利益	19,323	22,929
法人税等	7,411	8,220
四半期純利益	11,912	14,708

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	19,323	22,929
減価償却費	668	584
株式報酬費用	79	66
賞与引当金の増減額(△は減少)	△244	△508
その他の引当金の増減額(△は減少)	△8	△19
受取利息及び受取配当金	△35	△26
支払利息	—	0
投資有価証券売却損益(△は益)	8	—
固定資産除売却損益(△は益)	38	0
売上債権の増減額(△は増加)	6,272	2,256
たな卸資産の増減額(△は増加)	△0	0
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△124	△743
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,660	371
未払金の増減額(△は減少)	△367	1,554
前受金の増減額(△は減少)	△1,256	582
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△27	714
その他	△6	△87
小計	21,659	27,674
利息及び配当金の受取額	49	41
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△8,985	△8,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,723	19,176
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△928	△199
有形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の売却による収入	110	—
貸付金の回収による収入	42,200	48,500
定期預金の預入による支出	△60,000	△40,000
定期預金の払戻による収入	6,000	—
差入保証金の差入による支出	△0	△5
差入保証金の回収による収入	1,183	20
資産除去債務の履行による支出	△433	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,867	8,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	30	49
自己株式の取得による支出	△2	△2
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△10,681	△10,982
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,653	△10,934
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,796	16,556
現金及び現金同等物の期首残高	23,463	41,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,666	58,093

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上額 (注)2
	新規ライセンス およびクラウド ・ソフトウェア ・サブスクリ プション	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,273	33,680	11,277	8,421	72,653	—	72,653
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,273	33,680	11,277	8,421	72,653	—	72,653
セグメント利益	1,713	17,700	628	1,779	21,822	△2,355	19,466

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,355百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期損益計 算書計上 額 (注)2
	新規ライセンス およびクラウド ・ソフトウェア ・サブスクリ プション	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,238	36,298	10,811	8,808	78,157	—	78,157
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,238	36,298	10,811	8,808	78,157	—	78,157
セグメント利益	3,280	19,445	514	1,487	24,728	△2,045	22,682

(注) 1. セグメント利益の調整額 △2,045百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。